

伝統と創造 讃岐のり染

—暮らしを彩る—



1



日常を支えてきた、
技がある。



6



3



4



5



7

Seto Inland Sea Folk History Museum

2024. 3.9^土 - 5.19^日

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

入館料 無料

休館日 月曜日[ただし、4月27日(土)~5月6日(月・休)は無休]

協力 (有)大川原染色本舗



8

瀬戸内海歴史民俗資料館

Seto Inland Sea Folk History Museum

1.金子正則叙勲記念品、2.のり置き作業、3.大漁旗と船(昭和時代)、
4.大漁旗、5.大川原染色本舗、6.大獅子油単前掛け、7.紺屋の白袴、
8.法被(いずれも大川原染色本舗蔵・写真提供)

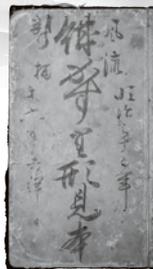
伝統と創造 讃岐のり染

—暮らしを彩る—

香川県では、地域の風土の中で、その土地の素材を活かしながら人々の日常生活に用いるさまざまな用具が作られてきました。地域の暮らしに根差して培われてきたこれらの伝統的な技術は、生活様式や社会が変化する中で、新たな創造を重ねながら継承されています。

瀬戸内海歴史民俗資料館では、かつて県下150人の諸職・職人を対象に香川県諸職関係民俗文化財調査を行い、報告書として『香川県の諸職』（香川県教育委員会、1989年）を刊行しました。その後、約35年を経て、令和5年度から「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業」としてそれらの現況調査を行っています。

本展では、「伝統と創造」と題して、これらの調査成果を踏まえ、暮らしの中に息づく技術を順次紹介していきます。第1回目は、大川原染色本舗の協力を得て、瀬戸内の暮らしを華やかに彩ってきた大漁旗や獅子舞の油単、のれんや幟などを生み出した「讃岐のり染」について展示します。



1.色入れの作業、2.工房での色差しの様子、3.5代目計一の仕事風景 大川原染物店中庭(昭和40年代)、4.『風流新柄 紺かす里形見本』(明治33年)、5.タオルなどの文字染の版木、6.各種の刷毛 (4-6 大川原染色本舗蔵)



7.柴野栗山の図、8.漢詩「鶯轉紫殿風」、9.龍の図、10.鳳凰の図 (いずれも大川原染色本舗蔵)



- ◎JR高松駅から車で約25分・JR坂出駅から車で約30分
- ◎徳島方面から…高松自動車道権紙ICより車で約30分
- ◎岡山方面から…瀬戸中央自動車道坂出北ICより車で約30分
- ◎愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出ICより車で約35分
- *いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
- ◎駐車場:普通車30台、大型バス可

瀬戸内海歴史民俗資料館

Seto Inland Sea Folk History Museum

〒761-8001高松市亀水町1412-2(五色台山上)
TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>



[関連事業]

■トークセッションとのり染実演 参加無料

大川原誠人さんと当館職員が展示を解説しながらトークした後、のり染作業(のり置き・色差し)の実演を行います。

日 時: 3/23(土) 13:30-15:00

講 師: 大川原誠人氏(大川原染色本舗)

場 所: 瀬戸内海歴史民俗資料館 瀬戸内ギャラリー・研修室

定 員: 25名(先着順)

申込方法: 電話または来館での申し込み

申込期間: 3/9(土)から受付開始(定員になり次第、終了)

■のり染工房見学 参加料50円(保険料)

職人さんたちの繊細な手仕事で色鮮やかなのり染が生まだされるようすを制作工房で見学します。

日 時: 5/18(土) ①10:00-10:45 ②11:00-11:45

*①・②は同じ内容です

場 所: 大川原染色本舗(高松市築地町9-21)

*現地集合・現地解散
駐車場は近隣のコインパーキングなどをご利用ください。

定 員: 各回10名(中学生以上。応募多数の場合は抽選。)

申込方法: 往復はがき、「香川県電子申請・届出システム」での申し込み

*申込は1組2名まで。往復はがきの場合は、氏名、住所、電話番号、参加希望回(①か②)を明記してください。「香川県電子申請・届出システム」をご利用の場合は、香川県ホームページの「オンライン手続き等」から「電子申請・届出サービス」にアクセスし、本事業名を検索し、お申し込みください。

申込期間: 4/10(水)~5/1(水) 当日必着

申込み・問合せ先 **瀬戸内海歴史民俗資料館** (左記参照)